



わたしたちは、  
“いじめ”にどう立ち向かうのか。

いじめ問題の出口を捜す。

札幌市資料館 (旧札幌控訴院法廷)

**日程** 2013年3月3日(日)

**場所** 秋田大学60周年記念ホール (教育文化学部3号館145教室)

**内容** 第1部 (午前の部)

1. 学生による研究発表 (9:30~11:00)  
「教育は“いじめ”にどう立ち向かうのか」
2. 基調提案 (11:10~12:00)  
「紛争解決と“生ける法”からとらえる“いじめ”」

第2部 (午後の部)

3. 模擬裁判ーいじめPTSD民事裁判ー (13:00~15:00)
  - ①民事裁判までの経緯ー模擬学年会議・職員会議を経てー
  - ②裁判劇
4. シンポジウム (15:20~17:00)  
「いじめ・人権・教育・法」



# 「いじめ問題プロジェクト－いじめ・人権・教育・法－」 概 要

## ◆内 容

### 第1部 (午前の部)

#### 1. 学生による研究発表

##### 「教育は“いじめ”にどう立ち向かうのか」

教職課程の学生が、いじめ問題をどう捉え、どう解決に導くのか、5つの研究班に分かれてその方策を追究する。

- ①いじめ問題総合的調査班発表
- ②ネットいじめ・学校裏サイト調査班発表
- ③いじめ防止条例・法関係調査班発表
- ④いじめ防止プログラム調査班発表
- ⑤いじめPTSD調査・模擬裁判実施班発表

#### 2. 基調提案

##### 「紛争解決と“生ける法”からとらえる“いじめ”」

いじめ問題克服には、法に基づく厳格な対応しかないのか。いじめの様式と対応方法について、議論の素材を提供する。

〈 休 憩 〉

### 第2部 (午後の部)

#### 3. 模擬裁判

##### ①模擬民事裁判までの経緯－模擬学年会議・職員会議を経て－

ある中学校で、いじめ問題が発生した。被害生徒とその保護者の訴えに学校は  
どう対応するのか。学生による模擬学年会議・職員会議の実践を紹介する。

\*シナリオ制作 (井門 正美、神居 隆)

##### ②弁護士と学生による裁判劇

学校の問題対応は挫折した。被害生徒はPTSDで不登校となり通院している。被  
害生徒と保護者は、学校設置者・加害生徒とその保護者を民事事件として訴えた。  
この裁判の行方はいかに。

\*シナリオ制作・裁判劇 (三浦 広久、山本 尚子、高椅 重剛)

#### 4. シンポジウム

##### 「いじめ・人権・教育・法」

わたしたちは、いじめにどう立ち向かうのか。5人のシンポジストの提案を契機  
として、熱く語り合う。

##### 《シンポジスト》

梅野 正信 (上越教育大学教授)

神居 隆 (秋田大学特任教授)

岸田 洋輔 (札幌弁護士会弁護士)

久保山 力也 (青山学院大学兼任講師)

仲 真紀子 (北海道大学大学院教授)